

# 令和3年度 関係機関の防災対策の取組みについて

## 取組内容

- ❶ キキクルについて(新潟地方気象台)
- ❷ 大雪時の取組み(東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟管理事務所)

# キキクルはどんなときに使う？アクセスするには？

「キキクル」は大雨・洪水警報の危険度分布の愛称です。  
令和3年3月に公募により決定しました。

## キキクルとは？

雨による災害の危険度を地図上に  
リアルタイム表示

自分がいる場所  
の災害の危険度  
を地図上で確認  
できます。



雨による災害の危険度が10分ごとに更新されます



※常に最新の情報を確認してください。

土砂災害・浸水害・洪水害の3種類

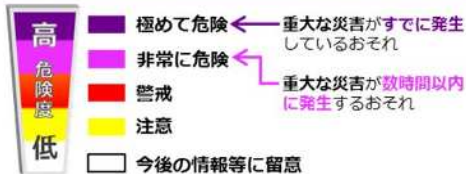


大雨警報(土砂災害)

大雨警報(浸水害)

洪水警報

危険度を5段階に色分けして表示



※洪水警報の危険度分布の「今後の情報等に留意」は水色表示となっています。

## どんなときに使う？

大雨警報や洪水警報等が発表されたとき

強い雨が降ってきたとき



## キキクルにアクセスするには？

気象庁ホームページからアクセス

気象庁ホームページや  
インターネット検索  
検索からアクセス！

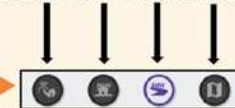


この雨大丈夫？そんな時  
キキクル  
大雨・洪水警報の危険度分布

トップページの  
バナーをタップ



ハザードマップと  
土砂災害 浸水害 洪水害 重ね合わせ



他の災害の危険度を  
確認できる  
ハザードマップと  
重ね合わせできる

## 色を確認して早めの避難を！

キキクルの活用Point

遅くとも

- 「警戒(赤)」が出現した段階で  
高齢の方等…速やかに避難を開始  
一般の方…準備が整い次第、避難を開始
- 「非常に危険(うす紫)」の出現中に  
避難を完了することが重要です。



# ◆大雪時の取組み(方針:国交省資料)

## 大雪時の道路交通確保対策 中間とりまとめ 概要 (令和3年3月改定)

### I 冬期の道路交通を取り巻く環境

- 近年、24時間降雪量の増大、積雪深さの観測史上最大の更新など、雪の少ない地域も含め、短期間の集中的な大雪\*が局所的に発生  
※:大規模な車両滞留や長時間の通行止めを引き起こす恐れのある大雪
- 道路ネットワークの整備が進む中で、車社会の進展、輸送の小口多頻度化等により、国民生活や企業活動の道路交通への依存が高まっている一方、幹線道路上の大規模な車両の滞留は、社会経済活動のみならず、人命にも影響を及ぼすおそれ
- 短期間の集中的な大雪時に、通常時と比べて自動車の利用台数に変化が見られたケースも存在  
 ↳ 冬期の道路交通を取り巻く環境にも変化の兆し(鉄道の計画運休の社会への浸透も参考に、道路の通行止めに対しても理解を促進)

### II 大雪時の道路交通確保に向けたこれまでの取組み

#### 1. 繰り返し発生する大規模な車両滞留

- 短期間の集中的な大雪時に大規模な車両の滞留が繰り返し発生、解消までに数日間を要するケースもある
- 高速道路と、並行する国道等を交互に通行止めし、交通を確保する観点から通行止めを躊躇した結果、大規模な車両滞留につながったケースもある

#### 2. 道路管理者等によるこれまでの主な取組み

- 異例の降雪が予想される場合、「大雪に関する緊急発表」を行うなど道路利用者に注意喚起を実施
- 関係機関の連携強化を図るため、地域単位で「情報連絡本部」を設置
- 予防的通行規制区間の設定、除雪体制の応援等を実施
- 平成26年の災害対策基本法改正に基づき、道路管理者による立ち往生車両・放置車両等の移動が可能  
 ↳ これらの取組みを実施している一方で、大規模な車両滞留や長時間の通行止めが繰り返し発生している

### III 大雪時の道路交通確保に対する考え方の転換

#### これまでの考え方

短期間の集中的な大雪時は、「自らが管理する道路を出来るだけ通行止めにしたくない」や道路ネットワーク全体として大規模滞留の抑制と通行止め時間の最小化を図る「道路ネットワーク機能への影響を最小化」を目標として対応

#### 今後の考え方

「人命を最優先に、幹線道路上で大規模な車両滞留を徹底的に回避すること」を基本的な考え方として対応

### IV 大雪時の道路交通確保に向けた取組みの強化

#### 1. 道路管理者等の取組み

##### (1) ソフト的対応

- タイムライン(段階的な行動計画)の作成
  - ・関係機関と連携し躊躇なく通行止めを実施
  - ・合同訓練実施 ・気象予測精度向上
- 除雪体制の強化
  - ・地域に応じた体制強化・道路管理者間の相互支援などの構築
- 除雪作業を担う地域建設業の確保
  - ・契約方法の改善 ・予定価格の適正な設定等
- 除雪作業への協力体制の構築
  - ・道路協力団体等地域や民間団体が参加できる仕組み等
- チェーン等の装着の徹底
  - ・短期間の集中的な大雪の場合は、チェーン規制によらず躊躇なく通行止めを実施

##### (2) ハード的対応

- 基幹的な道路ネットワークの強化
  - ・地域の実情に応じて、高速道路の暫定2車線区間や主要国道の4車線化、付加車線等を通じ、大雪の観点からもネットワークを強化

##### (3) 地域特性を考慮した対応

- ・関係機関が連携する取組みの具体化については他の地域においても参考にすべき

- 短期間の集中的な大雪時の行動変容
  - ・出控え等の要請と社会全体のコンセンサス
  - ・通行止め予測等の繰り返しの呼びかけ、対象の拡大、内容の具体化
- 短期間の集中的な大雪時の計画的・予防的な通行規制・集中除雪の実施
  - ・広範囲での通行止め、高速道路と並行する国道等の同時通行止めと集中除雪による物流等の途絶の回避
  - ・リスク箇所の事前把握と監視強化
- 立ち往生車両が発生した場合の迅速な対応
  - ・滞留状況を正確に把握するための体制確保
  - ・躊躇ない通行止めの実効性を高めるためのメルクマール、トリガーをタイムラインに位置づけ
  - ・滞留車両への物資や情報等の適切な提供
  - ・地方整備局と地方運輸局等を中心とした乗員保護

- スポット対策、車両待機スペースの確保
  - ・カメラ増設、ロードヒーティング等の消融雪設備の整備
  - ・中央分離帯開口部やUターン路の整備 等

#### 2. 道路利用者や地域住民等の社会全体の取組み

- 短期間の集中的な大雪時の行動変容(利用抑制・迂回)
  - ・通行止めの必要性やジャスト・イン・タイムの限界への理解の促進
- 冬道を走行する際の準備
  - ・チェーン等の装備の備え

#### 3. より効率的・効果的な対策に向けて

- 関係機関の連携の強化
- 情報収集・提供の工夫
- 新技術の積極的な活用

# 計画的IC閉鎖の試行

大雪が予想される区間や時間帯から、一部のICで予め日時を定めて閉鎖する  
— 関係機関と合同で「大雪に関する緊急発表」が行われた場合に実施 —

ICランプ部の  
状況

雪堤が高く、  
堆雪ポケット  
も少ない



幅員が狭く、  
スタックが  
発生した場合の  
処理に労力  
を要する



料金所の状況

施設が多く、  
スムーズな  
除雪が困難



ICからの  
本線滞留事例  
(上越IC)

ICランプで  
発生したス  
タック車両  
が起因して  
発生



# 計画的IC閉鎖の実施イメージ

NEXCO

## 【目的】

### ①スタック・事故の発生リスク軽減

強雪時にスタック・事故の発生リスクが高いICを予め閉鎖して、車両滞留を予防する

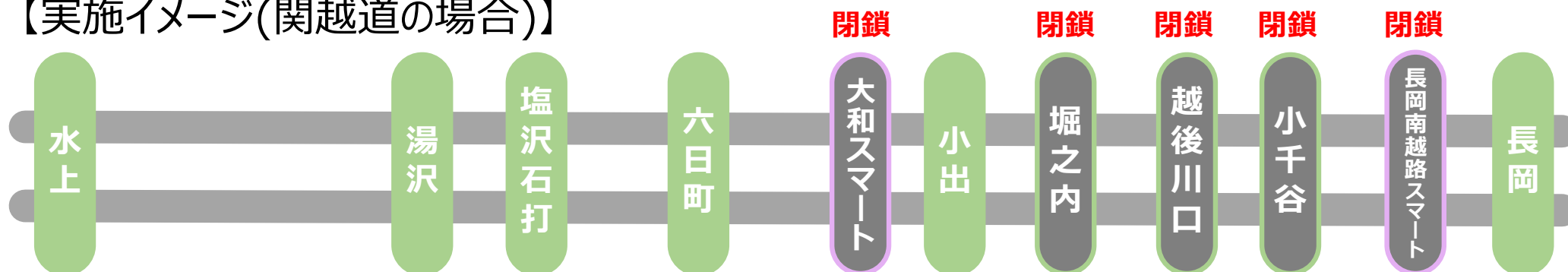
### ②除雪力をできるだけ本線に集中

本線の除雪力を高めて、路面コンディションを良好に保ち、車両滞留を予防する

### ③大雪時の出控え車両の誘発

高速道路による域内(短トリップ)利用が少なくなることで交通量が抑制されて、車両滞留を予防する

## 【実施イメージ(関越道の場合)】



注1:入口だけではなく、出口も閉鎖されるため、例えば長岡ICより東京方面の出口は小出ICとなる

注2:計画的IC閉鎖箇所は、その時の降雪予報や出入り交通量、一般道とのアクセス性などで選定し、関係機関と調整の上決定

注3:合同記者会見等で事前公表の上実施